

## 身近なまち並みづくり ～暖簾によるまち並み演出～

対象エリア	敦賀市舟溜り地区			
実施日	暖簾製作期間	平成25年1月21日（月）～平成25年2月27日（水）		
	暖簾お披露目会	平成25年3月15日（金） 14:00～15:30		
開催場所	暖簾製作	敦賀工業高等学校		
	暖簾お披露目会	敦賀市相生会館		
対象者（人数）	敦賀市舟溜り地区の住民等 34名			
主催	福井県			
協力	博物館通り景観形成協議会、敦賀工業高等学校 敦賀市、敦賀市立博物館			
製作者・発表者	福井県立敦賀工業高等学校 建築システム科 1年生			
ねらい	暖簾を製作・設置することで、地元で建築を学ぶ敦賀工業高校の学生や舟溜り地区の住民の方々のまち並みに対する意識向上を図る。			
プログラム および 講師	回	実施日	プログラム内容	講師
	1	1月21日	住教育について	福井県土木部建築住宅課 坂川
			舟溜り地区の景観について	敦賀市都市整備部都市政策課 百田 氏
			草木染について	草木染工房風雅 石川 雅夫 氏
	2	1月24日	デザインと社会との関わり	仁愛女子短期大学 西畑 敏秀 氏
			景観と屋外広告物について	福井県土木部都市計画課 山本
	3	1月28日	舟溜り地区の散策、現地調査	
			舟溜り地区の歴史等について	敦賀市立博物館 川村 俊彦 氏
	4	1月30日	デザイン作成その1	仁愛女子短期大学 西畑 敏秀 氏
	5	2月4日	デザイン作成その2	
	6	2月12日	デザイン作成その3	仁愛女子短期大学 西畑 敏秀 氏
	7	2月14日	デザイン作成その4	
8	2月21日	草木染実習その1	草木染工房風雅 石川 雅夫 氏	
9	2月25日	草木染実習その2	草木染工房風雅 石川 雅夫 氏	
10	2月27日	学内での暖簾デザイン発表		
11	3月15日	暖簾のお披露目		
		暖簾の設置		
準備物	<b>【暖簾材料関係】</b> 暖簾（設置場所ごとに寸法をあらかじめ決めておく） 竹竿 暖簾受け金具（暖簾お披露目会までに取り付けておく） <b>【草木染関係】</b> 染料（本ワークショップでは、ベンガラとアクリル顔料を併用） 刷毛、筆（数種類の太さのものと、ステンシル用を用意） バケツ パレット 型紙			



### 住教育について

平成25年1月21日実施

住教育に取り組んでいる趣旨や、これまでに取り組んできた内容について講義した。



### 舟溜り地区の景観について

平成25年1月21日実施

暖簾を設置する舟溜り地区で策定された景観形成推進計画の内容について、敦賀市都市政策課の担当者より講義をしてもらった。



### 草木染について

平成25年1月21日実施

草木染の染料として使われる材料の話、草木染の工程、デザインの仕方について、草木染工房風雅の石川雅夫氏に講義してもらった。



### デザインと社会との関わり

平成25年1月24日実施

仁愛女子短期大学の西畑敏秀氏に、デザインという意識が実際に町でどのように活かされているかを、身近な事例を紹介しながら解説をしてもらった。



### 景観と屋外広告物について

平成25年1月24日実施

福井県土木部都市計画課の担当者から、景観に配慮した広告物の例として、「ふるさと福井景観広告賞」の受賞作品を紹介してもらった。



### 舟溜り地区の散策、現地調査

平成25年1月28日実施

暖簾を設置する場所の雰囲気や設置の仕方、設置協力者への要望ヒアリングのため、現地を散策し調査を行った。



### 舟溜り地区の歴史等について

平成25年1月28日実施

敦賀市立博物館の川村俊彦氏から、舟溜り地区の歴史的な背景や景観形成の取組について講義してもらった。



### デザイン作成その1

平成25年1月30日実施

仁愛女子短期大学の西畑敏秀氏から、家紋や花押、インシヤルを使ったモノグラムデザインの作品例などを紹介してもらい、デザインについての指導をしてもらった。

この講義を経て、暖簾のデザインは「地区や建物の所有者の特徴を抽象化し、モノグラムデザインなどを採用」することとなった。



### デザイン作成その2

平成25年2月4日実施

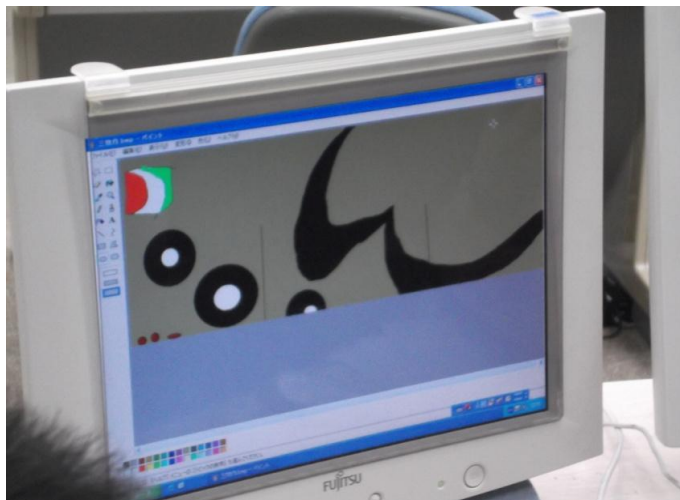
デザインを作成する上でのヒントを得るため、インターネットや敦賀市立博物館の資料に目を通し、デザインの草案を作った。



### デザイン作成その3

平成25年2月12日実施

生徒が作成したデザインを生徒の前で発表し、デザインコンセプトを説明した。仁愛女子短期大学の西畑敏秀氏に講評してもらい、デザインの改良を行った。



### デザイン作成その4

平成25年2月14日実施

前回の授業を基に、色彩も含めて最終案を作成した。



### 草木染実習その1

平成25年2月21日実施

ベンガラを使用して、暖簾の地染を行った。暖簾が乾くと濡れている状態の暖簾の色より薄く映るため、自分たちの思い描いている色合いよりも濃く染めるようにした。



### 草木染実習その1

平成25年2月21日実施

地染が終わった暖簾を自然乾燥させた。ドライヤーなどで乾燥させてもいいとのことだが、次回の授業まで4日間ほどあったため、自然乾燥させることにした。



### 草木染実習その2

平成25年2月25日実施

作成したデザインを原寸大にして、型紙にあてて切り抜いていった。



### 草木染実習その2

平成25年2月25日実施

切り抜いた型紙を暖簾にあて、アクリル顔料を使って彩色していった。にじまないようにするためには多少のコツが必要だった。



## 草木染実習その2

平成25年2月25日実施

アクリル顔料で彩色した後、また自然乾燥させた。1日以上置いて完全に乾燥したら、アクリル顔料を完全に定着させるためにもアイロンがけを行った。



## 学内での暖簾デザイン発表

平成25年2月27日実施

完成した暖簾を生徒間でお披露目し、デザインで工夫した点や暖簾を製作したことに関する感想などを発表した。また、発表内容や作品内容について学生同士で採点を行った。



## 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

暖簾をお披露目する前に、暖簾製作に携わった講師の紹介を行った。



### 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

地元住民に対し完成した暖簾をお披露目し、デザインで工夫した点や暖簾を製作したことに関する感想などを発表した。学生13グループの暖簾+建築住宅課がデザインし石川雅夫氏が製作した暖簾の、合計14作品を発表した。



### 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

お披露目された暖簾について、地元住民を代表して区長に感想をもらった。  
「各暖簾にいろんな意味が込められた素晴らしい作品だ。学生が魂を込めて作った暖簾を大事にしたい。」



### 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

お披露目された暖簾について、博物館通り景観形成協議会長にも感想をもらった。  
「先人が残してくれたこの博物館通りの景観は、次世代につなぐ必要がある。今回の暖簾をきっかけに、今後のまちづくり活動をさらに活性化していきたい。」





### 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

暖簾お披露目後、学生たちはそれぞれの場所に暖簾を設置した。

なお、暖簾受けについては事前に取り付けておき、当日の設置時にスムーズに作業が進むようにした。



### 暖簾お披露目会

平成25年3月15日実施

博物館通りを代表する和風建築物の「敦賀酒造」に設置された暖簾。地元の方が手作りされた「吊るし雛」もお披露目会に合わせて製作され、吊るされた。

### 学生の感想

身近に昔ながらの風景が残っていることを、今回初めて知った。暖簾が飾られることで、舟溜り地区が更なる明るく活気のある地区になって欲しいし、いつまでもこの風景が残って欲しいと思う。

### 地元住民の感想

若い人が古いまち並みに関心を持ってきてくれてうれしい。暖簾によってまち並みの雰囲気も変わった。暖簾が何枚も続けて掛かっていることで、まち並みに一体感が出ているし、暖簾の色もこのまち並みに合っていて、暖簾とまち並みの風情とがよい感じに溶け合っている。